臺灣日日新報 (日曜日) 第一万三千四百八十八號 昭和十二年十月十日

臺灣昌新報夕刊 十月九日 每月定價一部二十錢

〝中華民國人士に告ぐ〟
速かに正道に歸れ
膺懲は國府と抗日軍閥
松井最高指揮官談話を發表

【上海九日發本社特電】陸川最高指揮官兼北支那方面軍司令官松井大將は八日發表の談話を發表すると同時に〝中華民國人士に告ぐ〟と題し左の聲明を發表した

一、最近日支間に感情顯に激發し彌の赴く所遂に戰線を擴大して居るは兩國の爲め誠に遺憾にたへない獨善自己に陶醉して日本の實力を輕視し或は赤化勢力と相合して共存共榮を危ふくし更に又民族復興運動の爲めにせばんとしつつあるは實に此の點である

二、軍の目標とする所は南京政府と抗日軍隊であつて一般民衆を作戰の對照とする考は毛頭ない卽ち從來南京軍閥政權の扶植に狂奔し來つた支那官民が既往の迷夢から覺醒して正常に歸るべき日は來たのだ無辜の一般大衆中直接戰禍に遭ひ或は生命財産の危險にさらされある者に對しては余は深く同情を表すると共に諸氏がこの際須く帝國軍隊に信賴して暫く戰塵の圈外にあらん事を希望する(電眞は松井最高指揮官)

正太線に爆彈の雨
敗走の敵兵を急追
爆撃を敢行して殲滅

【○○根據地にて八日發同盟特派員】八日午後正定より敗走中の敵の部隊を殲滅すべく篠原部隊の○○機○○臺は勇躍出動午後四時石家莊の西二十キロ正太線上の獲鹿附近を爆撃汶河を渡つて退却せんとする敵の大部隊を潰滅した又遠藤部隊の○○機も四時半安平西方の部落に敵部隊を發見これに猛烈なる爆撃を敢行多大の損害を與へた(凸版は戰線附近)

忻縣を大爆撃

【○○根據地にて八日發同盟特派員】○○機は山西方面原平鎭南方に在る敵の據點たる忻縣を爆撃し同地に集結中の敵大部隊及び各要所に大打擊を與へた

長驅、平魯を占領
何柱國軍を擊退して

(平魯八日發本社特電)西部山西省の支那軍を擊破中の瀨川、中島、吉富の三部隊はその快速を利用して昨日は孝武に今日は河曲と一日百二十キロの神出鬼沒の進軍をなし支那軍を奇襲して殘滅せんとしつつあり七日には殺虎口、河曲、朔州を結ぶ高原地帶に敵を追ひつめ八日朔州を出發して北進し并坪鎭、平魯にあつた何柱國麾下の騎兵千五百を擊破し午後二時平魯の古城を確保した、平魯は往昔匈奴の墨來に漢民族が備へた代州縣城に次ぐ堅壘だが今は城壁は風雨のため破壞され城內望樓は朽ち果てゝゐる、住民は支那軍閥の苛斂誅求に苦しみ皇軍の入城を心から歡迎してゐる

全支を三戰區に
抗戰陣容を建直す
何應欽を廣東に急派

【南京八日發同盟】第二戰區北(一)支、上海戰線における支那軍の不(一)利な形勢に鑑み、中央軍は全面的に抗戰態勢の強化を期するため、第一戰區(河南、安徽兩省)の軍事を指揮する何應欽軍事委員會副委員長を急遽廣東に派遣することゝなつた、何副委員長は八日午後南京を出發、廣東に向つた、何副委員長は廣東に到着後、第一戰區の軍事を指揮するとともに、廣東、廣西兩省の軍隊を統率することゝなつてゐる

正定の敵兵全滅
退路を斷ち猛襲され
道路上には死屍累々

(新柴八日發同盟特派員)我が飛行機の偵察に依れば正定右側の滹陀河の橋梁は我が爆撃及び砲撃の爲め火災を起し目下盛んに炎燒中である、然して正定城は午後六時過ぎ我軍の手に歸し目下殘敵を一人殘らず掃蕩中で敵は平漢線に沿ひ雪崩を打つて潰走中であるが敵の唯一の退路である滹陀河鐵橋は既に破壞されてゐるので全く袋の鼠となり急追する我軍のため道路上に死屍累々として居り河を渡らんとして溺死する者實に數知れずといふ有樣である

白雲(廣東)飛行場を空襲
廳舍、格納庫を爆撃

【上海八日發同盟】第二艦隊發表 八日午後十時發表

英軍艦隊は本日午前十時半頃に開れたる臨時閣議の決定に依り廣東白雲飛行場を空襲し折柄地上整備中の敵機を銃撃し、更に飛行廳舍の火災擴大すれば同廳は火煙天に沖して大音響と共に爆發をり、この日現在に於ける戰果は左の如し

目下判明せるもの左の如し

撃墜 確認 十八機 可能 十機

撃破 確認 十機 可能 十機

地上撃破 確認 二十機 可能 十機

ソ聯、半島人を壓迫
監禁して續々强制移住
朝鮮軍當局談を發表

【京城九日發同盟】ソ聯沿岸における半島同胞に對する壓迫に關し朝鮮軍當局は八日當局談を發表したが、右に依ると大體左の如くソ聯の不法振りは言語に絶してゐる

去る九月末ソ領の琿春に逃れた半島人多數の歸還に關した件に關しては滿洲國當局に於ても目下調査中であるが、ソ聯側の報道に依ると琿春に逃れた半島人は支那人多數と共に同地に居住する半島人は支那側官憲の檢擧を免れんが爲めソ領側に歸化し支那人と共に反滿抗日運動に從事してゐたものであるとなつてゐるが事實は全く之れと反對で半島人は支那官憲の壓迫を免れんが爲めソ領側に逃れたものであつて、ソ領側に於ては之れ等半島人を强制的に收容し、或は强制勞働に從事せしめ或は抗日運動に從事せしめてゐるものである

内蒙軍追撃
外蒙の庫倫で
對日開戰を準備
ブ將軍が指揮に當る

【平地泉八日發同盟】內蒙軍の關(一)の手である張家口は內蒙軍と協力して包頭北方二十里の固陽(包)地方に於て東北軍第六師と騎兵第七師を基幹とする綏遠北方の武川を占領した、又百靈廟(百)公廣三(至)の不毛地帶地方カザックスタンに兩飛行場を急設中で獨ソ軍用貨物列車に搬送用貨物列車に搬送を開始しつゝある

内蒙軍追撃
外蒙の庫倫で
對日開戰を準備
ブ將軍が指揮に當る

【平地泉八日發同盟】內蒙軍の關(一)の手である張家口は內蒙軍と協力して包頭北方二十里の固陽(包)地方に於て東北軍第六師と騎兵第七師を基幹とする綏遠北方の武川を占領した、又百靈廟(百)公廣三(至)の不毛地帶地方カザックスタンに兩飛行場を急設中で獨ソ軍用貨物列車に搬送用貨物列車に搬送を開始しつゝある

九國條約國會議
倫敦で開催
英國しきりに準備

【ロンドン八日發同盟】英國政府はルーズベルト米大統領の演說及び國務省の聲明を以て、米國政府の新外交政策を解明したものとし直ちに駐米、英大使リンゼー氏に米政府の眞意を確めるやう訓令したと云はれるがチェムバレン首相及びイーデン外相は二日中に日支問題につき重要協議を遂げたが、同時に英米兩政府は外交機關を通じ米國の

【東京九日發同盟】【八日夜倫敦なる獨への情報によればボニモロフ駐支ソ聯大使が當日急遽歸國すると時を同うして南京政府代表二名

米國も參加
二巨頭が重要協議

【ワシントン八日發同盟】ルーズベルト米大統領は八日午前ハル國務長官、デーヴイス外交顧問(下と九國條約國會議參加問題につき重要協議を遂げたが、同時に英米兩政府は外交機關を通じ米國の

(會議參加に關する帝國政府の態度)

陸軍上陸以來の
敵軍の損害
遺棄死體が約七千

【東京八日發同盟】八日午後零時二十分發表——上海方面に於ける陸軍上陸以來敵に與へた擊滅的打撃の概況は次の如くである

十名、わが軍の遺棄せる死體數は四百八十二基、小銃二千百四十七挺

浮標のごとき女
(105)

尾崎士郎作
梁川剛一畫

油醬マルキン
放送局では！

…嚴重な規則があつて商品の名は申しませんが、萬一許されるとしたら毎日の料理獻立はマルキンマルキンと、ラヂオが叫ぶ事でせう。

三度の御食事のおいしさはマルキン醬油が司つて居ります

毎日の御献立に 金 1日 2日 3日

(東川崎 小豆島 丸金醬油株式會社)

横なぐりの敵彈中に 土嚢を築く、決死隊員

彼我の對峙わづか三十米

陸戰隊に從征する記

（上海にて竹崎特派員發）

暴戻なく虹口の邪人を撃ち殺した海軍陸戰隊にここ二ヶ月の酬けさを與つて去る八日を期し世界注視に出でた北四川路からデリ押しに進出をはじめた、殊に左翼十師部隊の敵戰線はうるさく、二十日には日軍隊の決死的突破により閘北の敵本拠の一角を確保しつつ二日には三義里方面におよび、歩一歩と緊張な戰闘をつづけた、この二日間な戰闘が伸比し

迷路が

つて、髪の毛ほどの間隙も許さない、私は敵火に崩れた煉瓦の山を踰んで北四川路と亀裂路の交点アイス廠附近をぜる陸山民醫院につれられて皇軍の苦心戰跡になる市街戰をつぶさに見ることができた、陸路となつた北四川路前側

幾性が

出たことかオデオン劇場の前面より閘北まで約七十米、何といふ貴重な七十米であつたか、屍累しのきく道路は無丸が雨の如に飛来し、爪のさきも出せない、東西に面し民家のトンネルができたりぬいて民家のトンネルができた路を開ない迫撃砲弾の雨トーンパリパリパリと便乱の調ならず

苦難の

湿地帯における○○部隊の將士（2）難路を行く○○部隊（竹崎特派員撮影―總督府許可濟）

ガラスの砕ける響き、それらの中にあつて小銃を撃ちまくるものにまぢられて大隊長がドカンドカンと響をふちぬく、まるで

講談に

出てくる大盃撮吾が吉良の門をチン破つやうだ、ブーンと酒のにほひがしてくる、酒屋であつたらしい跡へ跡けた、

膝を沒する濕地帯 ○○○の苦難

杉村部隊を訪ふ

【天野本社特派員發】

天津は今や洪水に面面してゐる、必死の防衛陣が敵国に充んじて墓軍の手によつてではなく、敵軍の的となつてゐるが、白河上流の洪盛と敵殲兵の墓防を洪水いま洪水とたつて天津を襲はうとしてゐるのだ、南支におけるリーク に對比されるのは北支における閘北でこれはジックリと水が襲つて、朔のやうに、沼のやうになつて、二里、三里とつづき

深さも

四、五尺から七、八尺、登壇のところで二、三尺だ、皇軍の將士は水に入つて、ある時は泳ぎ、ある時は歩き、ある時は匍匐して、この難路を突破して敵を急追するのである、

軍の進撃をこれら湿地帯に阻まれたことか、殊に連隊方面に著しい泥濘部隊の野田、赤榮部隊の如きは、それらをも突破して敵を敵滅し、四日、昼間の諸部隊はそれらをもつつあるは敵が閘北の本拠と頼む北停車場に直呼の間にある、わが杉村部隊長はそれら前線の勇士に○○○○をもち

苦難の

湿地帯における○○○にうめてゐるが、私が杉村部隊長を前間すると部隊長は次の如く語つた

中島、佐藤、○○部隊 名譽の戰死者 八日判明せるもの

中島部隊　軍曹勇松勇雄

佐藤部隊　少尉渡山才二

佐藤部隊　木貝武

佐藤部隊　伍長岡本恒一、同一貫島義、同西田武、同山本勝男、同池田男

○○部隊　伍長　新水義行

同長谷川西多喜義、同佐藤三治、同森岡功義、同鳥井與太郎、同神

【上海八日發同盟】八日判明した戰死者左の如し

皇軍慰問の繪畫展 森岡長官けふ來場

【基隆七日發】二八日午後基隆駅着列車で歸還した某中學生徒は汽車の窓ガラスが鋭つたのであらう、部隊長の大きな笑声にひきこまれるやうに、その時ドアをあけて顔をだしたのが都島

某中學の通學生 列車の窓に怪らぬ落書

【基隆七日發】二八日午後基隆駅着列車で歸還した某中學生徒は汽車の窓ガラスが鋭つたのであらう、部隊長の大きな笑声にひきこまれるやうに、その時ドアをあけて顔をだしたのが都島

沈着豪膽ぶりに 支那軍も敬意を表す 壯烈な秀島機の最期

【東京八日發本社特電】去月二日○○機爆隊で名同附近敵陣の無遠不差敵襲のため敵機を起し墜落負傷に不時着後敵の襲撃を受けて重傷を負つて同部の肩を敵つた秀島大尉を見舞つた、大同飛行隊的勇士○○○○を出發、大同飛行隊的勇士○○○○を出發、羽田飛行場まで約七十米、何といふ貴重な七十米であつたか、屍累しのきく道路は無丸が雨の如に飛来し、爪のさきも出せない、東西に面し民家のトンネルができたりぬいて民家のトンネルができた路を開ない迫撃砲弾の雨トーンパリパリパリと便乱の調ならず

戰線より

（1）敵を急追する○○部隊の將士（2）難路を行く○○部隊（竹崎特派員撮影―總督府許可濟）

責任感強く 氣受けが良つた

戰死した德留准尉

軍隊慰問映畫會

全國の看護婦が 飛行機獻納運動

臺灣でも積極的活動

陸戰隊に從征する記

不倫の男女・夫を毒殺

北署の手で犯人直ちに捕はる

支那人船員の中に 只一人日本人運轉士 英貨物船基隆に入港

北京九基隆に寄港

皇軍慰問の繪畫展 森岡長官けふ來場

某中學の通學生 列車の窓に怪らぬ落書

市場商人達が 皇民化運動 國語常用と臺灣服廢止

散書 太

實位本賀

御會葬御禮 石原治夫

戰ふ德 支 一億キン 夏多紀

兜や鉄の坊 取行浅局時 木梅伊 尚常勝 子道

ドーコレイヘイ

◆新世界館　昨十二時半上映
1流氓の姉妹　午後0時0分
2女社ニュース　午後0時0分
3日本ニュース　午後0時0分
4銀ゆる人間模様（前後）　午後0時0分

◆大世界館　昨十二時半上映
1流氓エルシノア　午後0時0分
2悩ちゃんの涙　午後0時0分
3日本ニュース　午後0時0分
4銀ゆる人間模様（前後）　午後0時0分

◆芳乃館　昨十二時半上映
1猿日大毎ニュース　午後0時0分
2仇討天下茶屋　午後0時0分
3日支事變特報　午後0時0分

◆タイゲキ　昨十二時半上映
1劍痴秦昌記　午後0時0分
2裏珠と未亡人　午後0時0分
3支那事變ニュース　午後0時0分
4神秘な男　午後0時0分

◆圓際館　昨十二時半上映
1君と唄へば　午後0時0分
2海の巨人　午後0時0分
3アラマウンド事變ニュース　午後0時0分

今晩の映畫

あすの天氣

◆市場商人達が皇民化運動―國語常用と臺灣服廢止

◆軍隊慰問映畫會

◆責任感強く 氣受けが良つた 戰死した德留准尉

◆全國の看護婦が 飛行機獻納運動 臺灣でも積極的活動

◆不倫の男女・夫を毒殺 北署の手で犯人直ちに捕はる

◆支那人船員の中に 只一人日本人運轉士 英貨物船基隆に入港

◆北京九基隆に寄港

◆皇軍慰問の繪畫展 森岡長官けふ來場

◆某中學の通學生 列車の窓に怪らぬ落書

◆沈着豪膽ぶりに 支那軍も敬意を表す 壯烈な秀島機の最期

◆皇軍慰問の繪畫展 森岡長官けふ來場

◆杉村部隊を訪ふ

◆膝を沒する濕地帯 ○○○の苦難

◆中島、佐藤、○○部隊 名譽の戰死者 八日判明せるもの

◆横なぐりの敵彈中に 土嚢を築く、決死隊員 彼我の對峙わづか三十米 陸戰隊に從征する記

◆戰線より 敵を急追する○○部隊の將士（2）難路を行く○○部隊（竹崎特派員撮影―總督府許可濟）

◆責任感強く 氣受けが良つた 戰死した德留准尉

◆軍隊慰問映畫會

◆全國の看護婦が 飛行機獻納運動 臺灣でも積極的活動

◆不倫の男女・夫を毒殺 北署の手で犯人直ちに捕はる

◆支那人船員の中に 只一人日本人運轉士 英貨物船基隆に入港

◆北京九基隆に寄港

◆皇軍慰問の繪畫展 森岡長官けふ來場

◆某中學の通學生 列車の窓に怪らぬ落書

◆市場商人達が 皇民化運動 國語常用と臺灣服廢止

家庭と人婦

廢物が有する 驚くべき富

（上）かのコールタールさへ五十年前は無用の長物視

廢物はその文字の示す如く棄てられた物で、價値のないものである、世間から顧みられず、捨てられる運命にあるものだ。然し、今日の様な時勢にあつては、この廢物を生かし、有效に使はねばならないのである。

廢物から實に驚くべき數々のものが發見されてゐることは世人は餘り知らない。最も新しいところではホルモンだとか、魚の臟物や獸の小便などから發見され、價値なものになつてゐるなどは、全くをかしい位である。

廢物々々といふ名れー廢物は絕對的に廢物として運命づけられてゐるものではないのである。昨日の廢物は、必ずしも今日廢物ではない、今日の廢物は、必ずや明日利用の途上にあるものである。即ち廢物は時代的に變遷するといつてよい、又世の中の廢物の數は次第に減少して行く趨勢のものである。さうして結局は廢物がなくなる時代が到來するであらうと思はれる廢物に驚くべき富が存在するといつては、「寸暇もないであらうから、その例を次にお話してみようと思ふ。

×

數年前のコールタールは文明社會に光彩を與へる所の染料、或はベリカンの巢

ベリカンの巢

羅馬アストラカン國立鳥類飼育場は、二万二千二百二十四（ヘクター（一ヘクターは約一町二十五歩）の敷地と莫大な資金を有する設備で、其處で世界各國の珍らしい鳥の數々が飼育されてゐる

【驚度はベリカンの巢】・

されてゐた。我國に於いても天然原油と云ふ黒い油として、蒸餾油の代りに使つた事があつた。其の後ランプなどに使はれたのであるが、どうも此油は火を引き易い、火が付き易い、と云ふので原油の中の輕發油の部分を除いて比較的安全な油として使つたのである。即ち火のつき易い部分を廢物として捨てたのであるが、それが今日のガソリンであつて、飛行機や自動車を動かす大切な燃料であるのは御承知の通り、實にこのガソリンを多量に生産しなければならないやうになつて、其の方法が研究され目下實行されて居る。其の爲に石油生産地方に出來た所の天然瓦斯からガソリンを造る。

尚殘つた瓦斯はどを適當に發動機に燃やして、そして石油の井戸を掘り、或は石油を汲み出す所の原動力にしてゐる。

或はアメリカでは天然瓦斯から瓦斯ブラックといふ黒い油煙を造つて、全世界に供給して居る。これは印刷インキ、自動車のタイヤの中に入れる原料として澤山使はれてゐるものである。

×

大體に捨てられてゐた例としてもう一つ擧げると石鹸工場から出る廢液は二十數年程前には溝渠に、流されてゐたが、歐洲大戰による火藥の原料であるグリセリン、即ちグリスリンの需要が增して來たので此捨てた石鹸廢液からグリセリンを採る樣になつた。

雜誌紹介

▲俳句研究（十月號）「俳畫美」「現代俳壇展望」「俳畫の美」（岡本癖三郎）「日本的敎に於ける句調（高濱虛子）「あれは何時（高濱虛子）「俳畫論（水原秋櫻子）「俳畫の性格（川端茅舍）「俳畫三昧（松根東洋城）「俳畫の位置（安田蚊杖）「俳畫に於いて（佐藤紅綠

國定忠夫（75）

力士インタビュー

秋の夜長に一興の短歌俳學

三　早わかり手相學（二）

内閣情報部が！映畫を推薦

有段者十人抜碁戰（第六局）

標準品を求める手！
やがて其の手に清潔と健康が確保されるのです！
完全な清潔力・無比の整肌が
感用感さわやかで
お徳用な！
ロンミール
陸軍業局方收載
泳病内服新藥

臺灣日日新報 (原題漢文)（中華郵便物認可）（明治一ノ所治一年五月九日第三種郵便物認可）昭和十二年七月十日 第一万三千四百八十八號 (日曜日)

帝國の對支行動は 現存條約に違反せず

"支那こそ不戰條約の精神に背戻"

我外務省中外に聲明

【東京九日發同盟】國際聯盟が日支紛爭の經緯を調査し來る國聯總會に報告書を提出するに當つたので我外務當局は九日左の聲明を發表し國聯が帝國の對支行動を不法の烙印を押さんとする帝國の態度を明かにした、聲明書全文左の如し

帝國政府は現に帝國が支那において執りつつある行動が九國條約並に不戰條約の精神と原則とに違反するが如きは全然當らざるものにして帝國政府の眞意及び帝國の眞意を理解せざるより來るものなりと信ずるものなり

帝國政府は從來屢々聲明したる如く帝國が支那において執りつつある行動は

事變以來 急增する外國船の寄港

英國船が一番多い……

―基隆埠頭の新現象―

【基隆電話】最近目立つて基隆に入港する外國船の數が增加した、試みに事變發生以來の數を昨年の夫に比較すると七月は昨年三千七百、八月は四千四百、九月は二千九百、これが本年に入ると七月四十五隻、八月は少し減つて三十八隻となり九月は四十三隻と云ふ激增振りを示してゐる、而も國籍いま基には昨年入港の外國船中には支那汽船が含まれてゐたりしたが本年は純然たる外國船が二隻多く、而も今迄一度も寄つた事のない船などが陸〳〵入港してゐる事實の證據であるが、基隆へ買ひに來るものの增加は勿論であるが英國の對支經濟工作が海上を通じてより積極的になりつゝある事も十分うかがはれる、なほ今後この外國船の增加は益々顯著になつて行くものと思はれる

支那人引揚も 勢力に影響薄

基隆在住の臺灣人一割强の七、八千名も居る、支那事變で最近引揚げた者は一萬八、九千名に過ぎまいとして内約半數は六月前後に引揚げたものと見られるが、これ等臺灣人の支那に於ける勢力は依然强大で、引揚げた者の多數は資産家や商人ではなく、從つて臺灣人の支那に於ける勢力には殆ど影響なく、又引揚げた者の多數は近く歸つて來るものと見られてゐる

臺灣茶に對し 米國から大量買付

九月は好成績を見る

【基隆電話】臺灣茶商組合調査によると九月中臺灣茶輸出高は左の如くで、前月に比べ約二倍强の增加を示し、殊に米國向は前月の約三倍强の大量買付を行つてゐる

◇紅茶（九月中）
輸出　一、二三四　一、二三四
◇綠茶（四月以降）
輸出　五、四〇三　五、四〇三
計　六、六三七　六、六三七

臺南三郡下 蓬萊作柄

平年作中旬 出廻る見込

【臺南電話】三郡農事指導者及各區組合長會議は十日午前九時より北港郡役所に於て開催、北港、東石二郡下の一期蓬萊米作況を檢討したが、八日夜來の暴風雨は幸ひ收穫直前であつたため殆ど被害なく、平年作の收穫は期待出來る模樣で、一期作は平年作の收穫は期待出來る模樣で、一期作は平年作の收穫は期待出來る模樣で、一期作は

鹽が國力を制する

驚くべきその用途

「食用」などは消し飛んだ

鹽は食用として國民の一日も缺くことの出來ないものであり、苛性曹達の原料であり、染料の原料でもあり、また忘るべからざる毒ガスの原料でもある。

從つて鹽の問題は、日常生活を支配し、一國の產業に影響する點も多々ある。いま鹽の用途を概說してみると次の通りである

一、ナトリウムとして

▲苛性ナトリウム＝過酸化曹達、青酸化合物製造用

▲苛性曹達＝人造絹絲、メリザリン、染料、ブユリン曹達、硝酸、製紙、アイスホース、漂白、石鹼製造用、石油精製、グルケット、合成樹脂、トリエウム

▲炭酸曹達＝洗濯曹達、各種製鹽用、石鹼、硝子、製紙、染料、消化劑、七號曹達、無煙火藥、硼砂、硝酸曹達、燐酸曹達、ピクリン酸曹達、醫藥品、酒精、サルチル酸、ベンゾール、スーパードライト、過酸化ベンゾール、クロアセトン、フォシエン、クロロサルファオン、四鹽化チタン、クロロピクリン、醫藥品用、プユニルガーグ、ニルクロアゾール、サイアイシンクライド、ジクロメルソイサー、メルクロロサルフオネト、四鹽化錫

▲鹽酸＝人造絹絲、染料、醫藥品用、硝酸用、製鹽用、石鹼製造用、醫藥品用、石油精製用、其他

二、直接用途

食用、鹽漬魚、各種製鹽用、醫藥用、硝酸用、染料、石鹼用、石油精製用、其他

三、鹽素として

▲鹽素＝漂白粉、消毒劑、殺菌劑、下水處理、殺虫劑、醫藥品、合成樹脂、人造絹絲、染料、石鹼、漂白劑、水道用、酒精製造用、醫藥製造

×

右に示す如く、我國の鹽の需要は、昨年には昭和元年の二・四倍に增加してゐる。このうち最も顯著なる增加を示すものは、工業用に使用されるものであつて、同期間に於て十二萬噸から增し、全需額の六割近くを占めるに至つたが、需要は消費品として必要なものであるから、鹽の供給力を確保する必要が生じて來るのである。

×

然らば、我國の鹽の供給力はどうなつてゐるか、昭和十一年度（昭和十一年四月より十二年三月迄）の鹽の供給は內地生產が五十一萬八千噸、台灣よりの移入が八萬八千噸、合計百七十八萬二千噸であつた。

斯くの如く、我が內地の鹽供給のうち內地產には二分に過ぎず、殘りはこれを移入または輸入に俟たねばならないのである。移入總額のうち、我が帝國內のものは台灣鹽が八萬八千噸、關東鹽が二十四萬噸、計三十二萬八千噸、關東鹽が二萬噸移入の二分が、これに我國の勢力範圍內にある滿洲國、關東州、支那の青島鹽を加へると五七%になるが、その他の四三%は大部分アフリカ及び土耳古鹽である。政府は工業鹽の大增產を決定、既に本年度その第一步を踏み出した。

ればならない。

ピコ山については、ハーヴアード大學天文台のピッカリング教授の實測な觀測が既に何年か前に完成されたが、ロウストロング氏の最近の觀測は教授の說を增補した點が多々ある。

古代の生物界一瞥

大トンボ、大トカゲ

遠い昔、現在我々の使用する石炭が作られ始めた頃の動物は概して非常に大きかつたと想像されてゐる

例へばトンボにしても、その翅の長さ二尺に翅の長さに比して胴體りは案外細く體重の輕微な大きさだつたらうと想像される。

又イグアノドンと呼ばれるトカゲの二種は身長三十五呎と推定され、アメリカ、チエスターフイールドで發見された化石は四十三呎、梔三十二呎といふ大なものである。

木材の內部をきく

聽音器の發明

あらゆる細かな音を強らさずにきく聽音器が、如何に必要かべからざる防空武器の一つであるかは、誰も知つてゐることだ。これにヒントを得たか否かは不明だが、イングランドの物理學者コールグラク氏によつて、木材の內部に棲息する蟲の音を聽き分ける聽音器が發明された。

防空壕をほどこした場合に、材木の一片をいれると、內部にしかけられたマイクロフオンを通じて、木材內の蟲の活動が手にとるやうに聞かれる。チヤタテムシの幼蟲の材木の空を穿らる音を聞いたコールブルクク氏は「モソモソといふやうに聞こえる間隔にガラガラといふ音がする」といつてゐる。

月の表面には若干の大氣がある

英、ロウストロング氏が研究

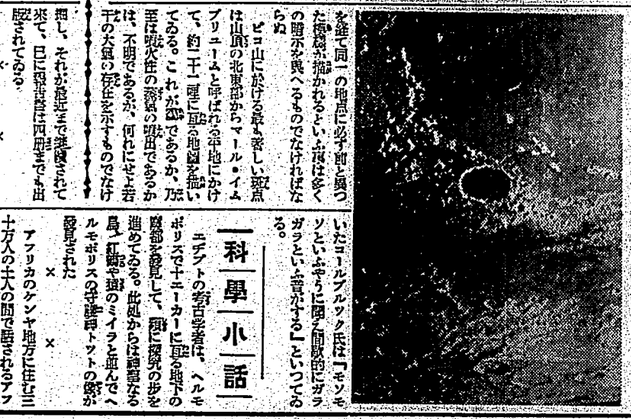
月の表面には大氣がないと一般に信じられてゐるが、最近の研究によれば、その山頂に時に瓦斯が現れる事が判明し、これはとりもなほさず月面上に空氣の如きものがなさうなものでは無いかと解釋されてゐる。

英國リバープールの天文家ロウストロング氏はこの研究の權威であるが、氏によつて、八千呎の高さをもつピコ山を觀測し、四時間觀測をもつて四十八箇の觀測を總括した。これらは何れも時に瓦斯化する山頂の明暗を調つてゐる。

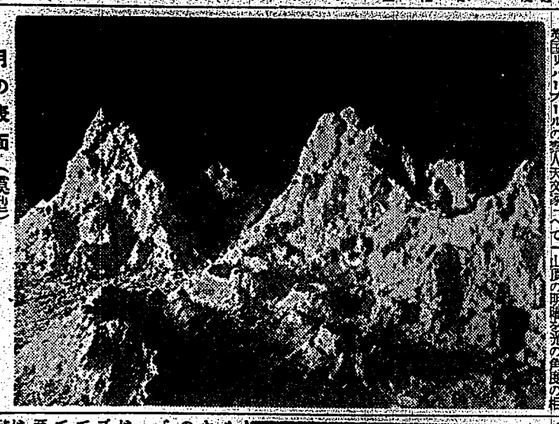
ロウストロング氏はピコ山頂の明暗を別の角度の相異なる時に同一の地點に必ず明と暗とが交つた現象が認められるといふ點は多くの觀測者が異口同音にこれを認めてゐる。

ピコ山は山頂の北東部からマール・イムブリューム呼ばれる平地にかけて、約二十二哩に亙る地域を占めてゐる。これが瓦斯であるか、或は噴火性の煙霧の如きものであるかは、不明であるが、何れにせよ若干の大氣の存在を示すものでなければならぬ

尙ほこの形態の變化が常に不規則であるといふこと、一定の時間を經て同一の現象を繰返すといふ點が注目される。



月のアルプス山脈とプラトン山附近



月の表面（模型）

無敵皇軍の行手に

"殷墟"の大遺跡

龜甲文字や獸骨の出土

夏・殷・周の榮華の跡

舊暦が殷代の曆で支那大陸を支配しつつある點殷のゆくてにも暗影が投げられた歷史上の重要な點である。それが河南安陽縣の小屯村にある（殷墟）である。ここは現在四十年頃から石器時代の遺物が發掘されたが、殷時代の墓も發見され、又それより遡つて周や新石器時代の木の墓や大理石のいろいろな裝飾品なども多數出土してゐる有樣で、今後も研究發掘が組織して大規模に實施を行つたら、殷周時代の歷史はもちろん古代支那文化全般に亙つて多大の光明を與へるものと期待されてゐる。（東大考古學科助手談）

殷墟が發掘されたのは、ずつと以前のことで、それ以來、已に發掘者は四回も出てゐる。

×

又其外に小屯以外にも殷墟が發見された點は大體殷墟附近の農民は知つて來た。即ち遡つた頃から石器時代の遺物、及び青銅時代の遺物などが大分發見された外に同時代の墓や竪穴の住居跡等も發掘されたが、新石器時代の墓も發見され、又それより遡つて周や新石器時代の木の墓や大理石のいろいろな裝飾品なども多數出土してゐる有樣で、今後も研究發掘が組織して大規模に實施を行つたら、殷周時代の歷史はもちろん古代支那文化全般に亙つて多大の光明を與へるものと期待されてゐる。（東大考古學科助手談）

×

殷墟の發掘は、それが最近まで續けられて來て